

# Lesson 02 「縄文時代の生活と精神」

～ Logical - 通史理解「日本史探究」疾風 Watabe 塾 ～

## 【縄文遺跡群】 UNESCO

① 2021年〔1〕は〔2〕・北東北〕に位置する「17地点/縄文遺跡群」の〈世界文化遺産登録〉を決定した。

（北海道の「キウス周堤墓群」「北黄金貝塚」「大船遺跡」などが含まれる）

※世界遺産委員会の評価ポイントは以下の2点

- ◆「農耕をともなわない定住社会および複雑な〔3〕を示す」
- ◆「定住社会の発展段階やさまざまな〔4〕への適応を示す」

## 【縄文文化の成立】

① 〔5〕～（完新世：約1万5千年前から約1万年前）沿岸の海面は現在より〔6 約 m〕高い…海面上昇＝〔7〕

② 縄文文化の成立（約1万3千年前）

<特色>

- 定住化
- 〔8〕経済…〔9〕
- 縄目文様をほどこした〔10〕を製作/使用～貯蔵用・煮炊用
- 打製石器から進化した〔11〕を製作/使用

<時期区分>（約1万3千年前から紀元前4世紀までの約1万年間）

…製作された土器形状の変化により  
→〔12〕・早期・前期・中期・後期・〔13〕…6期に区分

○狩猟の変化

～大型獣（マンモス・ナウマンゾウなど）の絶滅  
変化：シカ・イノシシ・鳥などの動作が素早い中小動物の狩猟  
→そのために、〔14〕を製作/使用  
地面に落とし穴を掘る

○縄文海進のピーク（縄文前期・約6000年前）

→漁労がさかんとする…〔15〕を製作/使用  
※動物の角や骨を材料とする道具

○東日本では落葉広葉樹林が広がる

→土掘り用打製石器・石皿・すり石  
※気候/植生による〔16〕があらわれはじめる

## 【縄文時代の生活】

- ・集落～〔17〕…「掘立柱」  
日当たりのよい台地上、〔18〕の形成、貯蔵穴
- ・遠隔地との交流～石器の材料、接着剤、〔19〕の材料、通婚
- ・東日本の優位性＝集落密度が高い～植物資源（木の実）と動物資源（鮭）が豊富
- ・狩猟に必要とされた「石器」の進化  
○旧石器時代から引き続き、黒曜石・サヌカイトを材料とする  
<種類> ◆矢の先につける…〔20〕  
◆槍の先につける…〔21〕  
◆動物の皮を剥ぐ…〔22〕

## 【縄文農耕論】

- ・縄文時代に農耕は開始されているという主張＝〔23〕論〕  
○長野県 尖石遺跡（縄文中期）→大型打製石斧（石鋬）が大量に出土  
○福井県 鳥浜貝塚（縄文前期）→低湿地遺跡から栽培植物の種子が発見  
○縄文土器（縄文中期/後期）から、イネの〔24〕発見

## 【縄文時代の交易】

- ・長野県和田峠で多く産出、北海道では十勝石〔25〕
- ・讃岐石ともいい、四国・中国・近畿が産出地〔26〕
- ・姫川流域（長野県～新潟県）原産の深緑の石〔27〕
- ・石器・骨角器と木の接着や、土器補修の材料〔28〕

## 【縄文時代の社会関係と習俗】

- ・人口の増加と深刻な飢餓～不安定な社会
- ・社会的関係の特徴として→平等な社会～貧富の差や階級格差なし
- ・〔29〕  
◇自然物崇拜→豊かな収穫を祈願、〔30〕（女性を表現）〔31〕（男性を表現）
- ・習俗～装身具の発達、入れ墨の風習、〔32〕（＝通過儀礼）〔33〕…指導的立場？
- ・共同墓地の成立（縄文前期）～土坑墓⇒方式：〔34〕…鎮魂？合理性？

## 【日本人の起源】

- ・日本人の起源（原日本人は古モンゴロイドの系譜）  
古モンゴロイド＝〔35〕と  
新モンゴロイド＝〔36〕との混血 ※新説＝3源流
- ・原日本語〔37〕語系（北方系）と南方系言語の特色をもつ